

赤れんが庁舎リニューアル基本指針の概要

1 策定の目的

国内外から年間65万人以上が訪れる赤れんが庁舎の発信力と重要文化財としての優れた価値を活かし、北海道観光の呼び水となるように国内外に向けた歴史文化・情報発信拠点として利活用を図っていくため、改修後のリニューアルオープンに向けた活用方策を定めることを目的とする。

2 基本指針の概要

第1章 赤れんが庁舎全体の利活用コンセプト

- ◆あらゆる人が楽しめる場
- ◆道内各地と連携する場
- ◆北海道ブランドを世界に向けて発信する場

第2章 各ゾーンのねらいと基本的な考え方

2 階	歴史と文化のフロア	
展 示	北海道の歴史・文化を未来へ継承する展示	展示体験を通じて、北海道の歴史や文化に関する価値への理解を促す。
	赤れんが庁舎の重要文化財としての価値を示す展示	庁舎創建時の歴史的背景や建築物としての見所などの情報を提供することにより、重要文化財としての価値を伝える。
催 事	眺望を活かした催事スペース	重要文化財としての重厚な空間を活かし、様々な催事を行うためのスペースとして活用
1 階	地域情報とにぎわいのフロア	
観光情報	北海道の魅力を映像等で紹介	北海道各地の独自の魅力と、四季折々の移ろいによって表情を変える多種多様な自然等を紹介
	道内各地域の観光情報発信	道内179市町村の地域情報を紹介し、各地域への誘客を促す。
物 販	選りすぐりの道産品を販売するセレクトショップ	道内各地から優れた産品を集め広くその魅力を発信
飲 食	歴史的空間を活かした飲食スペース	北海道の優れた「食」を体験してもらい、食文化の魅力を伝える。
地 階	創造と交流のフロア	
道民活動支援	道民が様々な活動に利用するスペース	活動スペースを提供し、道民による事業構想や地域創造活動などを支援
	開拓絵画展示ギャラリー 北海道に関連する各種資料の展示	北海道が所蔵している絵画の展示や次世代へ継承すべき資料を展示し、今日に至る北海道発展の原点を見つめ直す機会を提供
小 屋 裏 ・ 八 角 塔		
屋上バルコニーからの眺望を活用		

第3章 前庭の活用

重要文化財の象徴的な外観や貴重な自然を楽しめる場として、道内外の人々に広く開放し季節毎に様々な催事を開催するなど、来訪者の憩いと交流の場としてにぎわいを創出

第4章 史跡「開拓使札幌本庁舎跡および旧北海道庁本庁舎」の活用

赤れんが庁舎を含む史跡の保存と調和を図り、その価値を伝えるための活用及び整備を行う。

第5章 管理運営体制

民間事業者がノウハウを発揮し、利用者の満足度向上や利用料金等での収益獲得による自立性の高い施設運営が可能となるような手法を導入する。

第6章 その他

- (1) 概算工事費（耐震工事等）
78億円
- (2) 財源等
文化庁補助金や各種起債のほか、ふるさと納税等の寄附制度を活用
- (3) 改修スケジュール
2018年度 実施設計
2019年度 着工
2022年度 完成予定
- (4) 庁舎閉館日
平成31年9月30日